



購買情報



購買基本指針に則った購買活動の徹底 (サプライチェーンマネジメント)

UBEグループは、公平・公正な取引関係の構築に努めています。購買活動は、UBEグループウェブサイト「購買情報」に公開している購買基本指針「公平・公正な取引」「取引先選定における客観的評価」「法令の遵守・機密保持」「グリーン購入」「サステナブル調達」に従って行っています。

購買活動については、UBEグループウェブサイトの「購買情報」をご覧ください。

<https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/koubai/>

UBEグループサステナブル調達ガイドライン



サステナブル調達への取り組み

UBEグループは、人権尊重、反社会的勢力排除等の法令・社会規範の遵守、環境への配慮等を盛り込んだ指針「サステナブル調達」および「UBEグループサステナブル調達ガイドライン」を策定し、サプライチェーン全体のレベルアップを目指したサステナブル調達を推進しています。

「ガイドライン」は具体的な内容に見直し、2021年4月にUBEグループウェブサイトへ公開しました。

また、新規取引先には、購買の基本指針およびUBEグループサステナブル調達ガイドラインをUBEグループウェブサイトに掲載していることを伝えています。

https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/koubai/pdf/csr_guideline.pdf

第3回CSRに関するお取引先調査の結果



CSRに関するお取引先調査

2019年度は、資材、工事、包装材料・燃料油の購買金額9割をカバーする主要取引先276社の第3回調査結果を集計・分析し、結果を全社にフィードバックしました。また、この調査は取引先のCSR実態を把握し、必要に応じて改善要請することを目的としており、回答水準の低い取引先とは面談し改善を支援しました。

質問項目

1. CSR推進のための社内体制
2. 安定供給の確保、品質
3. 企業倫理、法令・社会規範の遵守と公正な取引
4. 環境への配慮
5. 人権尊重、安全・衛生
6. 社会貢献、社会とのコミュニケーション、情報管理・開示ほか

上記6項目(全27問)の5段階自己評価の調査結果の全体平均水準は3.8でした。一定レベルの取り組みや対策が実施されていると判断しています。項目別に見ると、「人権尊重、安全・衛生」に関しては取り組み水準が4.4と高い一方で、「環境への配慮」は3.4と相対的に低い結果となりました。

なお、人権に関する「ハラスメント禁止」「強制労働・奴隷労働・児童労働・不当な(低)賃金労働の禁止」「性別・人種・国籍・年齢・宗教・障害などによる差別禁止」の3項目は、いずれも5段階中4以上で、一定レベルの取り組みや対策が実施されています。

調査結果の詳細については、UBEグループウェブサイトの「第3回CSRに関するお取引先調査の結果」をご覧ください。

https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/koubai/pdf/customer_01.pdf

第2回と第3回の回答比較

